

第 93 回つくば中央メーデー

応援メッセージ



茨城県労働組合総連合 殿

つくば中央メーデー実行委員会に結集されている各組織の皆様の日頃のご奮闘に敬意を表します。今回、つくば中央メーデー中止の連絡をいただきましたが、コロナ感染者が高止まりの状態が続き、皆さまの判断も仕方のないことと思います。

しかし、メーデーが実施できなくてもメーデーに寄せる労働者の思いを一つにして見えるものにしていく必要があるのではないのでしょうか。いばらき中央メーデー実行委員会では、人数制限で実施するため、参加できない組合員はメーデーを実施することも知らない人が多くなることから、みんなで写真を撮ってメーデーに関する思いを文章にしてもらい、それを茨城労連の HP にアップしたらどうかという意見が出ています。

そうした取り組みの中で、メーデーが 8 時間労働を求めるアメリカのデモから出発していることをみんなで確認する必要があります。メーデーが労働者の祭典であり、労働者の要求実現の取り組みが、労働者の生活と権利を守り、政治の流れを変えてきたことをみんなの確信にしていく必要があります。

ロシアによるウクライナ侵略によって、戦争の恐ろしさと平和の重要性をみんなで再確認することができました。核共有や敵基地攻撃能力ではなく、憲法 9 条にもとづく平和外交の重要性が光り輝いています。原発再稼働ではなく、地産地消の自然エネルギーの開発こそが平和な社会に欠かせないことです。

そのためにも、科学者の平和憲法を前提にした国民生活の豊かさを追求する研究の重要性が明らかです。つくばの研究者の皆さんが、自分の研究を守るために、組合活動を強化して政治を変えていく運動に取り組まれることを期待します。

最後になりましたが、茨城県中央メーデー宣言（案）を送りますので、ぜひ目を通してください。なお、送付の期日が 1 日遅れてしまったことをお詫びします

2022年4月26日

議長 白石 勝巳



日本共産党茨城県委員会 殿

第 93 回つくば中央メーデー、おめでとうございます。2 年連続、コロナ禍中でのメーデーを迎えることになりました。

ロシアのウクライナ侵略に、断固抗議します。いかなる理由があろうとも、武力による攻撃はあってはなりません。日本共産党は国連憲章と国際法を踏み破るロシア・プーチン政権の蛮行を糾弾し、国際世論の包囲で侵略を止めようと一貫して訴えます。世界で唯一の被爆国、悲惨な戦争から生まれた平和憲法を持つ日本が、今こそ先頭に立って「戦争やめろ」の声を上げていくときです。

新型コロナウイルス感染症は、長年自公政権によって社会保障が削られてきた医療・公衆衛生体制の脆弱さを浮き彫りにしました。日本共産党は国会論戦などで疲弊する国民生活の実態を明らかにし、運動と結びながら給付金や業者の減収補填などを実現させてきました。検査体制が不十分なため、陽性者は高止まりし、10歳以下の子ども達の間にも広がっています。日本共産党は、県やつくば市への無料検査の拡大を繰り返し要望しています。感染拡大を早期に食い止めるため、引き続き検査体制、人員の拡充を求めてまいります。

コロナ禍の今こそ、最低賃金を大幅に引き上げ、地域間格差の是正を求めます。最賃の全国一律制、時給1,500円と中小企業支援は急務です。このことは、地方の消費購買力対策につながっています。医療、介護、福祉、保育など国民生活を支える「エッセンシャルワーカー」への政府の賃上げ効果は極めて不十分であり、すべてのケア労働者の抜本的な賃上げが行われるよう制度の改善が必要です。

昨年行われた総選挙では、野党共闘が多く選挙区で実現しました。僅差で当選できなかった選挙区もありましたが、市民と野党共闘の力が大きく伸びたことで与党に大きな脅威を与えました。この夏行われる参院選では、二度と悲惨な戦争を繰り返さないためにも、改憲勢力の過半数獲得を許さず、「憲法まもれ、暮らし第一」を訴え、躍進をめざす決意です。

第93回つくば中央メーデー万歳

日本共産党茨城県委員会副委員長 大内くみ子
茨城県議 山中たい子
つくば市議 橋本けい子
つくば市議 山中まゆみ



こくみん共済 coop つくば支所 殿

第九十三回つくば中央メーデーのご盛会を心よりお祝い申し上げます。
また、日頃よりこくみん共済 coop<全労済>の運動と事業にご理解・ご協力をいただいておりますことに心から御礼申し上げます。

さて、私どもこくみん共済 coop は、「お役立ち」発想と「共創」活動により、組合員の皆さまと「深く」「長く」関係づくりをすすめ、その力をもって「広く」運動と事業の発展に向けた活動を実践します。

新型コロナウイルス感染症の長期化により、組合員の皆さまを取り巻く環境は一層不透明となっています。このような情勢において、これまで培ってきた労働者自主福祉運動を核に、多様化するニーズに寄り添った生活保障設計運動を展開し、「共済」を通じてたすけあいの運動を行ってまいります。

さらに、生活協同組合として SDGs をはじめとした社会課題への取り組みを広げてまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日のつくば中央メーデーを機に、組合員の皆さまの益々のご発展を心よりご祈念申し上げます、お祝いのメッセージとさせていただきます。

2022年5月1日

支所長 木崎 節仁

